

八代港における大型クルーズ船の夜間入港ルールの策定

八代港において、大型クルーズ船の寄港及び寄港要請が急増しており、更に、船社等から県内での滞在時間の拡大に向けた夜間入出港の要請も受けています。

そのため、本年6月の夜間出港のルール（※）策定に次いで、16万トン級、22万トン級の大型クルーズ船の夜間入港のルール（※）を策定しました。

これにより、来年1月1日に16万トン級の大型クルーズ船が夜間入港する予定です。

※ ルール：航行安全対策

港湾法第12条（水域や係留施設の使用に関する規制）並びに県港湾管理条例（公共岸壁等の使用許可申請に関する審査）に基づき、風等の気象条件や船舶の大きさを踏まえた入港条件等を提示したものを。

夜間入港時の航行安全対策の概要

○ 16万トン級、22万トン級客船（12m岸壁及び14m岸壁）

・ 入港時間帯：制限なし

なお、夜間入港を行う場合は、下記の安全対策を行う。

・ 視認性向上対策

(1) 岸壁照明の対策：

①ガントリークレーン配備前の場合

・ バルーンライト5基、パトランプ等の設置

②ガントリークレーン配備後の場合

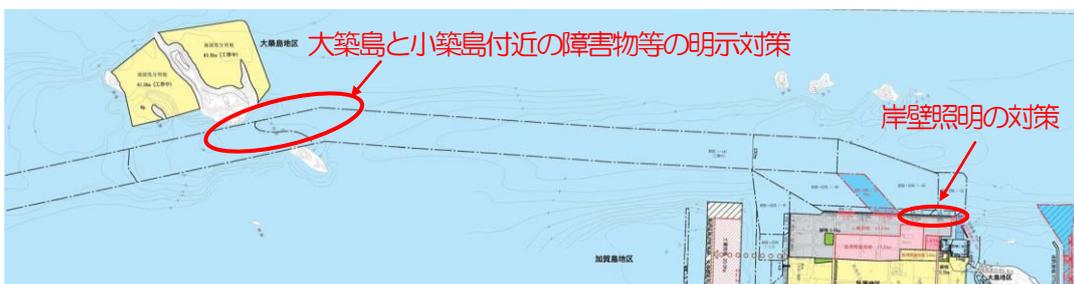
・ コンテナヤードの照明点灯又はバルーンライト（5基）・パトランプ等の設置

・ ガントリークレーン位置の明示：照明又は灯火等の設置

(2) 大築島と小築島付近の障害物等の明示対策

・ 大築島側に1基及び小築島側に1基の簡易灯浮標（実効光度4カゲ以上）設置

・ 本船入港針路の延長線と航路西側法線との交点付近に簡易灯浮標1基（実効光度4カゲ以上）の設置



期待される効果

○ 夜間入港の対策を行うことにより日の出前の入港も可能になります。

○ 平成27年6月に策定した夜間出港と併せて、大型クルーズ船の受入れは、24時間可能となります。

⇒ これにより、

○ 利便性が向上します。

○ 県内の滞在時間も増加するため、より多くの観光地を訪れることが可能となり、大きな経済波及効果を生むことが期待されます。

お問い合わせ先

土木部河川港湾局港湾課：弓削、平山（6152）

電話 096-333-2517